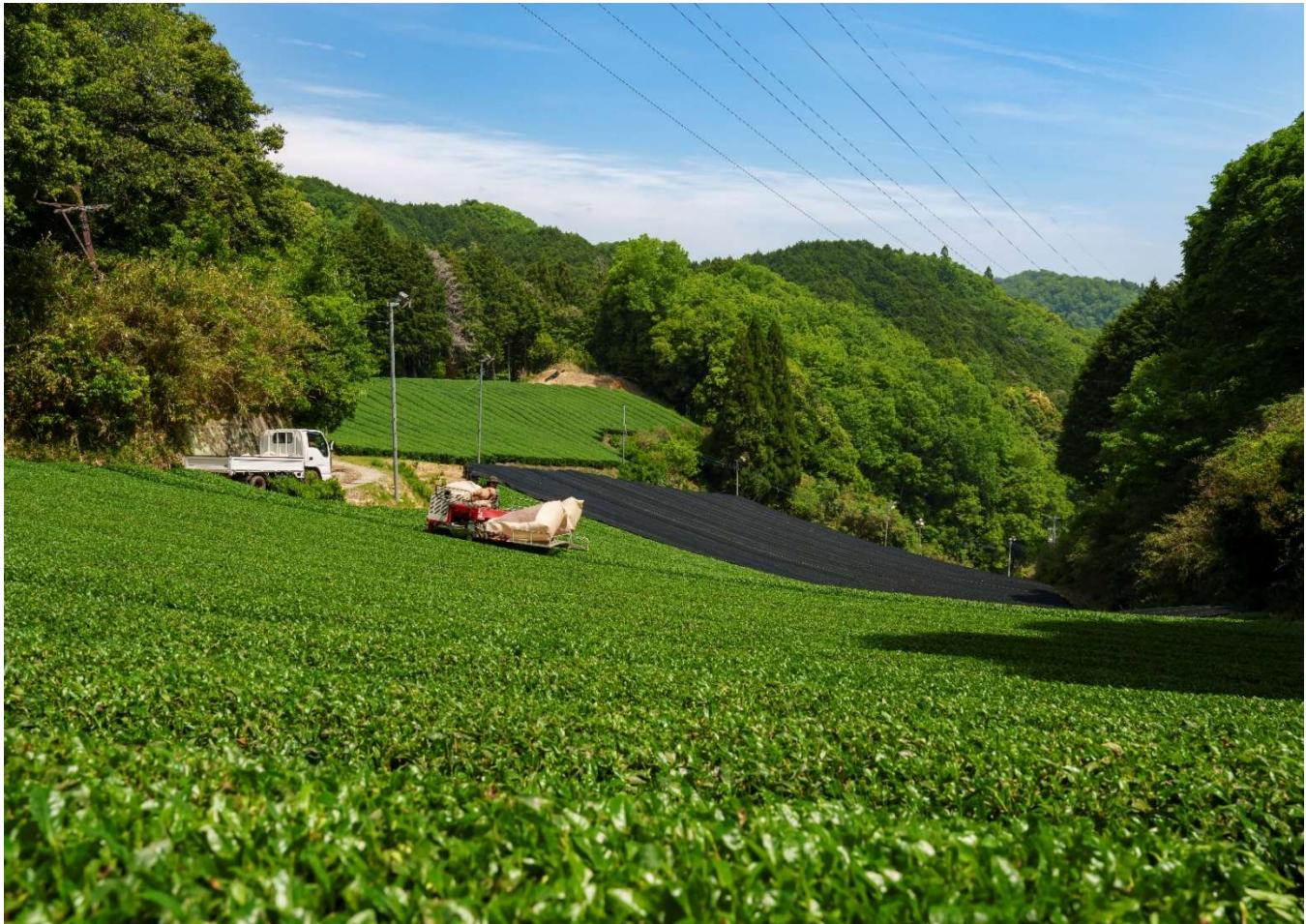


水土里ネット 奈良
奈良の土地 改良

発行：令和7年7月
奈良県土地改良事業団体連合会
奈良県橿原市城殿町459番地
TEL0744-29-1310
FAX0744-29-1312
<https://www.naradoren.or.jp>



奈良市 月ヶ瀬

目次	1. 奥野会長 春の叙勲『旭日大綬章』受賞	1
	2. 就任ご挨拶 奈良県土地改良事業団体連合会 常務理事 長谷川憲生	2
	3. 奈良県食農部 中野泰寿 部長 インタビュー	3
	4. 『農業農村整備の集い』に参加	5
	5. 令和8年度に向けた政策提案・要望活動	5
	6. 令和7年度 なら水土里ネット女性の会総会 開催	7
	7. 令和7年度全国水土里ネット女性の会研修会 & 都道府県水土里ネット女性理事意見交換会に参加	8
	8. 令和7年度 近畿水土里ネット連合協議会総会に参加	9
	9. 令和8年度に向けた近畿水土里ネット連合協議会による政策提案・要望活動	9
10.	宮崎まさお参議院議員来県	10
11.	令和7年度 奈良県農村地域づくり協議会通常総会及び報告会 開催	11
12.	五條吉野土地改良区 設立50周年記念式典	12
13.	公益財団法人 農業振興会館 理事会・評議員会 開催	12
14.	令和7年度 奈良県農業振興功績者表彰受賞者会総会・研修会	13
15.	令和7年度全国土地改良大会 佐賀大会のお知らせ	15
16.	令和8年度全国土地改良大会 奈良大会のお知らせ	16
17.	高山ため池の紹介 県営ため池整備事業高山地区完工式（北倭土地改良区）	17
18.	未来へつなごう！ふるさとの水土里子ども絵画展2025 作品募集	18

令和7年度 春の叙勲

奈良県土地改良事業団体連合会の
奥野信亮会長が「旭日大綬章」を
受章されました。



令和7年春の叙勲において、多年にわたり国会議員として議案審議の重責を果たされた功労から、本会の奥野信亮会長に対し「旭日大綬章（きょくじつだいじゅしよう）」の受章が発令され、5月9日、皇居における親授式において天皇陛下から奥野会長に勲章が授与されました。奥野会長は国会議員として国の発展、本県の発展に多大な功績を残されるとともに、現在も本会の会長として土地改良事業の推進、農業農村の振興発展に尽力されており、この度の受章を心からお慶び申しあげます。

【 奥野信亮氏 略歴 】

平成15年 衆議院議員初当選
平成17年 2期目議席獲得
平成18年 法務大臣政務官 ～平成19年
平成20年 奈良県土地改良事業団体連合会 会長就任 ～現在に至る
　　公益財団法人 農業振興会館 理事長就任 ～現在に至る
平成22年 自由民主党奈良県支部連合会 会長就任 ～令和4年
平成24年 3期目議席獲得
平成25年 法務副大臣 ～平成26年
平成26年 4期目議席獲得
平成29年 5期目議席獲得
　　総務副大臣 ～平成30年
令和 2年 6期目議席獲得
令和 6年 政界引退

就任ご挨拶

奈良県土地改良事業団体連合会

常務理事 長谷川 憲生



盛夏の候、会員の皆様方におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

この4月より常務理事を拝命いたしました長谷川です。どうぞよろしくお願ひします。

私事となりますが、昭和63年4月に奈良県庁に入庁し、当時、平群町にありました西和広域農道整備事務所に初めて配属されました。その頃の土地改良事業は、農地開発、農道整備を始めとするハード整備の進捗が真っただ中で、県内各地で整備工事がどんどん行われており、奈良県のリーディング品目である、柿、茶、小菊、大和野菜などの主要産地が形成されてまいりました。その後、吉野川分水を始めとする昭和の時代に整備された農業水利施設の更新整備が必要となり、長寿命化対策が行われ、さらに、食料農業農村基本法に基づく農村振興対策として、中山間地域振興、多面的機能の発揮を目的に、日本型直接支払制度を始めとするソフト対策が始まり、現在、県内25市町村、約600地区で実施され、農地の保全、地域の共同活動に活用いただいております。また、平成30年に制定されました、ため池管理法により、県内966か所の防災重点ため池を指定、ため池の防災減災対策が県下で取り組まれております。県職員時代の37年間、そのほとんどの期間、県農政に携わってきましたが、その時代の地域のニーズにあつた農業農村対策が各地域で行われてまいりました。

これからの奈良県の農業農村整備は、新たな基本法に基づき、担い手対策と農地対策を併せ、地域の実情に応じ、特定農業振興ゾーンを始めとする高収益化、集約化による儲かる農業を目指した「攻めの対策」と奈良県の歴史ある田園風景や地域にまつわる行事を継続し、農業農村を維持・保全していく「守りの対策」の両面で展開していく必要があると考えます。

この度、各市町村で策定された地域計画では地域での農地利用の将来像が示され、またこれから策定される水土里ビジョンにおいては、担い手と農地利用を踏まえた農業水利施設の在り方が示されてまいります。これらの計画を達成するために、各地域において必要なソフト対策とハード対策をバランスよく行っていくことが必要になります。水土里ネット奈良といしましては、会員市町村、土地改良区が策定されるこれらの計画の実現のため、各地域の課題を国、県にお伝えし、必要な補助事業制度の活用、予算確保の要望や技術的な支援を引き続き行っていくとともに、これら農業農村関連施策の効果、必要性を広く、広報していくことが重要な役割と考えております。

令和8年11月に奈良県で初めての全国土地改良大会の開催を予定しており、県内外より3000名を超える関係者が参加されます。奈良県の農業農村の魅力を全国にPRする機会となりますので、皆様方のご協力のほどよろしくお願ひ申し上げます。

結びに、会員皆様のご健勝とますますのご発展をお祈り申し上げ、就任の挨拶とさせていただきます。

『中野新部長インタビュー』

奈良県 食農部
部長

なかの やすひさ
中野 泰寿

対談日:令和7年6月4日(水)

場所:奈良県食農部長室

令和7年度 奈良県食農部長に就任された中野 泰寿 部長に奈良県土地改良事業団体連合会常務理事の長谷川 憲生がお伺いしました。



○ 長谷川 憲生 常務理事 × 中野 泰寿 奈良県食農部長 ○

長谷川 令和7年4月から食農部長に就任されましたが、これまでのご経歴をお聞かせください。

中野部長 平成3年4月に奈良県庁へ入庁し、最初に土木部監理課において用地補償審査業務、収用裁決事務を担当しました。その後、奈良県税事務所で県税の滞納整理事務に携わりましたが、登記事務や土地の知識と言った土木部での経験が生きました。その後は、教職員課給与係で公立小中学校の職員の給与事務、人事課人事係、障害福祉課にて事業者指定、相談支援等、その後教職員課や県立病院機構で病院運営、文化振興課でイベント関係にも携わりました。

長谷川 中野部長とは人事課にいらっしゃるときに知り合いましたが、人事ご担当を長くされているイメージでした。

中野部長 人事課には12年、教職員課には6年在籍し、県立病院機構の法人本部では理事会の運営と人事も行っていたため、県庁生活の半分以上は人事系の業務に携わってきました。

長谷川 農関係の仕事は初めてとのことです、農業について今までご経験されたことはありますか。

中野部長 自分自身の経験はほとんどありません。愛知県には、父方の祖父母の田んぼと畑がありましたので毎年お正月にお米や野菜をもらって帰るなど、ちょっとした農業体験をお盆、正月にしていました。小学生の時、田んぼで走り回っていたら肥溜めにはまつたことが忘れない思い出で、農家・農村に対するイメージは少しありました。

長谷川 食農部長になられて数か月経ちましたが農業へのイメージは変わりましたか。

中野部長 農業へのイメージは激変しました。見るもの聞くことすべて新鮮で興味深いです。

歩くことが好きなので、実家が三郷町ということもあり、近くの平群町の菊畠を見たとき、咲いている菊の状態により、お彼岸用、お盆用に栽培されているのかなと妻と話しながら散策しています。

また、日々の通勤で電車から見える田んぼに水が入り出したことで田植え前を意識するなど、日々の生活で農業に関する興味の持ち方が変わりました。



長谷川 今年度から、若手職員の提案で、奈良県の職員が農家へ研修に行くという取り組みを始められました。職員の中で農業経験がない者もいるので良い取り組みだと思います。今後はさらに職種を広げていただけるよう、期待しております。

中野部長 農学、農業土木職員の中には、農業を実家で行っていたり大学の実習で経験している者もいますが経験がない職員もいます。特に技術職の方々にとっては、若い時から積み上げた知識、経験や、農家の方々とのつながりは一生の財産となると思います。

長谷川 現在、奈良県の農政について課題と感じられていることを教えてください。

中野部長 農家の方々のお話を聞くと、後継者問題を抱えられる方が多いです。小規模農業で収益が少ないという親の営農状況をみて子どもたちが後を継ぎたがらないという話も聞きます。農地を維持するためには耕作を続けられる環境づくり、農地を荒廃させず、継いでいく担い手の確保が最も必要と考えます。

長谷川 五條吉野地区の柿農家などは後継者もしっかりとおられる地域もありますが、水稻などにより農地を維持していく担い手対策が必要かと思われます。今年度より、始められたサステナブルな奈良の水田営農に対する取り組みについて、これをきっかけに担い手対策を進めていただけると思っております。水田農業に対して土地改良に期待いただいていることはありますか。

中野部長 大規模なほ場整備に限らず、小規模な農地整備や水利施設の更新により、農地の集約化を少しずつ進めていくとよいのではと考えます。

県内市町村での技術職員の確保が難しい中で、奈良県土地改良事業団体連合会には、技術指導の支援、地元や農家の方々とのつながりを生かした活動に期待しています。

長谷川 私共もみなさまのお力になれるよう努力して参りますので、今後ともご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。本日はお時間を取っていただきありがとうございました。



『農業農村整備の集い』に参加

令和8年度当初予算の確保に向け、「農業農村整備の集い」が、全国から1,200名を超える土地改良関係者が参集し、令和7年6月18日（水）、東京都千代田区シェーンバッハ・サボーにおいて、開催されました。

奈良県からは土地改良区ほか関係者 計25名 が参加しました。

年2回開催される「集い」は、農業農村整備に携わる関係者が一同に会し、現場における課題の再確認と、諸課題に緊急に対応するため農業農村整備の一層の充実と推進を期する事を目的としています。

小泉進次郎農林水産大臣、滝波宏文農林水産副大臣、森山裕自由民主党幹事長、進藤金日子、宮崎雅夫全国水土里ネット会長会議顧問をはじめ多数の国会議員や農林水産省幹部の方々が駆けつけられました。

二階俊博全土連会長の主催者挨拶、各来賓の祝辞の後、来年度の全国土地改良大会開催県である佐賀県土連の女性理事の金澤智寿子さんが要請文を朗読し、全会一致で採択されました。

最後に参加者全員による「ガンバロウ三唱」で幕を閉じました。コメ問題もあり、食糧安保の問題もあり、熱気あふれる大会になりました。



農林水産省
小泉進次郎 大臣
<来賓挨拶>

全国水土里ネット
二階俊博 会長
<主催挨拶>

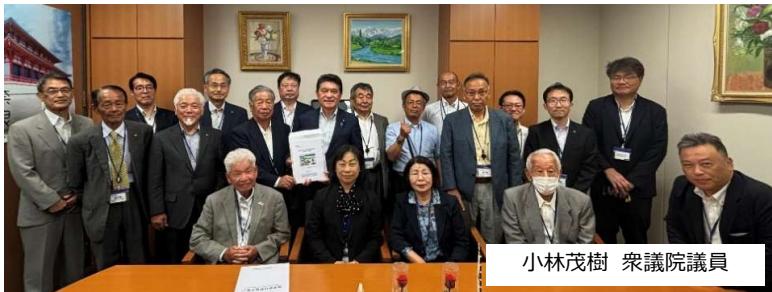
全国水土里ネット会議
宮崎雅夫 顧問
<関係者挨拶>

水土里ネットさが
金澤智寿子 理事
<要請文朗読>

令和8年度に向けた政策提案・要望活動

令和8年度に向けた政策提案・要望活動を、奈良県土地改良事業団体連合会、奈良県農業農村整備事業推進協議会、奈良県土地改良区連絡協議会3者合同で、令和7年6月18日(水)、19日(木)に行いました。県内市町村、土地改良区等20名が参加し（うち女性理事2名参加）、進藤金日子参議院議員、宮崎雅夫参議院議員及び奈良県選出の国会議員、財務省・農林水産省に、地域の実情を説明するとともに、予算確保に向けての要望活動を行いました。また、財務省訪問の際には、堀井いわお参議院議員も一緒に参加していただき、より一層に充実した活動ができました。お忙しい中ありがとうございました。要望先では、参加者に、今般のコメ問題や、資材・肥料などの価格高騰による今後の農業のあり方について、お話をいただきました。課題がたくさんありますが、生産者の立場としてコメ問題に対しての意見を述べられる場面もありました。そして、来年に控えた、奈良県での、全国土地改良大会についても、PRまた開催のご協力をお願いしました。

～ 政策提案・要望活動の様子 ～



田野瀬 太道 衆議院議員
(秘書対応)



堀井いわお 参議院議員
(秘書対応)



佐藤啓 参議院議員



進藤金日子 参議院議員
(秘書対応)



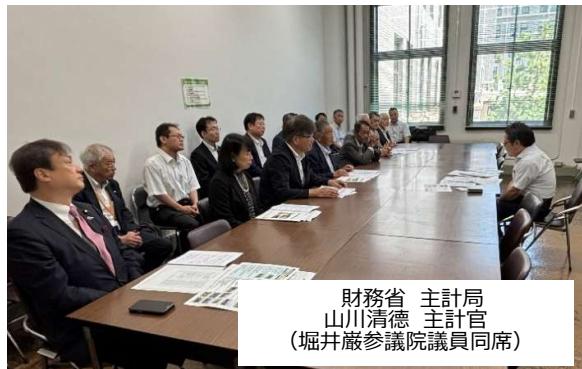
宮崎雅夫 参議院議員



農林水産省 青山 健治
農村振興局次長



農林水産省 農村振興局
石川英一 整備部長



財務省 主計局
山川清徳 主計官
(堀井巖参議院議員同席)

6

【奈良県の農業・農村の振興に関する政策提案・要望書】

1. 基盤整備等にかかる予算確保
2. 防災・減災対策の予算確保
3. 建設資材や労務費高騰に伴う支援対策
4. 土地改良施設の保全・管理体制の強化
5. 多面的機能支払い交付金制度継続のための支援と予算確保
6. 中山間地域支援のためのさらなる支援と予算確保
7. 農地・農業用施設災害復旧への支援

令和7年度なら水土里ネット女性の会総会 開催

令和7年6月11日（水）、橿原オークホテル 明日香の間において「なら水土里ネット女性の会」総会を開催しました。



総会には土地改良区女性理事・職員等 30名が出席しました。はじめに女性の会 上田美加子会長、奥野信亮顧問の挨拶があり、来賓の近畿農政局南近畿土地改良調査管理事務所 所長一阪郁久様、奈良県食農部次長外園俊夫様よりご挨拶をいただきました。議事終了後、大和平野土地改良区総務課主事森村徳子様に講演していただきました。

議題

令和6年度活動報告について
令和7年度活動計画（案）



上田美加子 会長



奥野信亮 顧問



黒瀬礼子 副会長

講演

「農業水利施設を守る女性の活動について」
大和平野土地改良区 総務課 主事 森村徳子



講演では吉野川分水の歴史や、農業用水利施設に携わる女性と活動する上での課題点について知ることができました。その後、意見交換の時間を設けました。「先人の活躍があってこそ今がある」「これからもっと土地改良のことを知りたい」といった意見が出ました。限られた時間の中でではありますが、活発に意見を述べていただくことができました。最後に黒瀬礼子 副会長が閉会挨拶を行いました。



令和7年度全国水土里ネット女性の会研修会＆都道府県水土里ネット女性理事意見交換会に参加

令和7年6月17日(火)18日(水)、東京都港区「TKP赤坂カンファレンスセンター」において、全国水土里ネット女性の会研修会＆都道府県水土里ネット女性理事意見交換会が開催され、全国から関係者180名が参加しました。始めに、全国水土里ネット女性の会 西 彩 会長（水土里ネット熊本 総務部会員支援課課長）同じく星野恵美子理事（那須野ヶ原土地改良区専務理事）より挨拶がありました。その後の研修会は、情報提供として、小谷匡農林水産省設計課技術調査官による『令和7年度農業農村整備事業関係予算の概要』、続いて全国水土里ネットの室本 隆司専務理事による『男女共同参画』、偉人の至言から読み取る』と題した基調講演など充実した内容となりました。また、各ブロックから代表して農業農村整備の活動報告があり、グループワークに移りました。

～趣旨～

土地改良事業団体連合会や土地改良区の職員及び女性理事の方が、意見交換を通じて土地改良事業の現状や課題を共有し、ご自分の業務への解決策等について教えていただく。

全体テーマ

食料安全保障の確保に土地改良区ができること

～米問題を考える～

2日間の研修会には、奈良県から上田美加子理事・黒瀬礼子理事、大和平野土地改良区2名、奈良土連2名が参加しました。グループ討論のテーマとして、今般の米問題について、生産者目線や消費者目線 いろいろな視点からどう考えるか、どうすべきかを含め意見交換を行いました。研修会では、質疑応答の場面で、上田美加子理事が発言されました。【現場の農家の意見として奈良県は35度を超える猛暑日がつづいたが、吉野川分水のおかげで、水には困らなかった、土地改良のありがたさを感じている。米の価格について備蓄米の古古古米は安く売ってもいいとは思うが、新米に対しては、慎重な価格をつけてほしい。現在、物価上昇でガソリン代、肥料代等があがっている。生産者は、もうけたいまでとは言わないが、生産を続けられる値段をつけてほしい。また、今回のコメ問題で、農家に目を向けられているのもチャンスだと思って、訴えていきたい。】いろんな視点からの意見交換ができました。



水土里ネット理事等発言で近畿ブロック代表として、水土里ネット滋賀 青田朋恵理事が発表されました。青田理事はモットーとして【食べることで「琵琶湖を守る！」「No Rice No Life】を推進されています。また、琵琶湖システムの導入や次世代への継承、伝統的な漁業がおこなわれる琵琶湖と滋賀ならではの環境に配慮した水田農業。そしてそれらを支える土地改良や農地・水保全管理などのPRを行っておられます。

令和7年度 近畿水土里ネット連合協議会総会に参加

令和7年6月2日（月）和歌山市にあるホテルグランヴィア和歌山において、令和7年度 近畿水土里ネット連合協議会の総会が、近畿農政局及び各府県幹部職員ご臨席のもと開催されました。



水土里ネット和歌山
二階俊博 会長
<当番県会長挨拶>



近畿農政局農村振興部
平山周作 部長
<来賓挨拶>



全国水土里ネット会長会議顧問
宮崎雅夫 参議院議員
<ビデオメッセージ>

『近畿水土里ネット連合協議会』とは
近畿2府4県の土地改良事業団体連合会の、相互連絡や事業の普及および発展を目的に組織され、①関係官公庁、諸団体との連絡、②土地改良事業推進団体との協力、③土地改良事業の啓蒙、普及等の事業を行っています。



総会では3議案が審議され、原案通り承認されました。

- (1)令和6年度の事業実施報告及び収支決算
- (2)令和7年度の事業実施計画及び収支予算(案)
- (3)国への政策提案（近畿の農業・農村の振興に関する提案書）

翌3日(火)には、和歌山県日高郡日高町の小浦地区を訪問し、県営農業競争力強化農地整備事業の現地視察が実施されました。

令和8年度に向けた近畿水土里ネット連合協議会による政策提案・要望活動

近畿水土里ネット連合協議会は、令和8年度に向けた提案要望活動として、令和7年6月11日(水)に近畿農政局へ、6月25日(水)に財務省及び農林水産省への提案要望を行いました。提案、要望活動に伴う財務省及び農林水産省や近畿農政局幹部職員との意見交換会では、近畿の農業の実状を踏まえ、①スマート農業、大区画化の推進、②ため池整備や防災・減災の着実な進捗、③高収益化と都市農業の取組支援を中心にそれぞれの府県の課題等も含め、活発で有意義な意見交換が行われました。

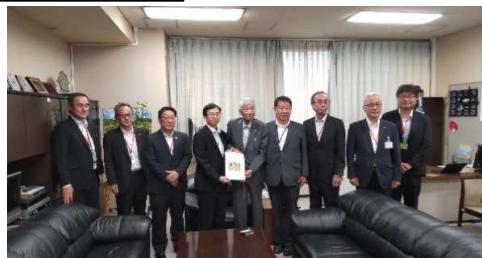
農林水産省及び財務省への要望 6月25日(水)、26日(木)



農林水産省 笹川副大臣



農林水産省 前島農村振興局長



農林水産省 青山農村振興局次長



財務省 宇波主計局長、山川主計官



農林水産省農村振興局との意見交換会



近畿農政局への要望 6月11日(水)

宮崎まさお参議院議員来県

宮崎雅夫全国水土里ネット会長会議顧問・参議院議員が5月10日に来県され、県内各地を訪問されました。午前中は北倭土地改良区と和爾土地改良区の方との意見交換を、午後からは天理市福住町を訪問し、天理市の並河市長に福住地域のお茶の廃園の活用など地域活性化の取組の現地を案内いただきました。その後、権原文化会館にて県民に向けて農政の現状と熱い思いをわかりやすく語られました。

権原文化会館においては、多くの首長や県議会議員、土地改良区の役員の方々に加えて、奈良県の農業振興に直接携わっておられる皆様と心をひとつに、さらなる土地改良の推進を力強く表明されました。



【北倭土地改良区】



【和爾土地改良区】



【権原文化会館】



【天理市福住町（山田教育キャンプ場）】

令和7年度 奈良県農村地域づくり協議会通常総会及び報告会 開催

令和7年5月30日(金)、大和平野土地改良区大会議室において、奈良県農村地域づくり協議会総会を開催しました。議事については、いずれも出席者(当日出席12正会員、委任状による出席6正会員)全員賛成により、原案通り議決されました。

通常総会終了後、報告会と質疑応答や意見の発表を行いました。



【議事】

第1号議案
令和6年度事業報告及び会計収支決算について

第2号議案
令和7年度事業計画及び会計収支予算(案)について



協議会
東会長
挨拶



県食農部
外薦次長
挨拶



協議会
大倉監事
監査報告



県土連
長谷川常務
挨拶

報告会



『奈良の食と農を考えるマルシェ&講演会・リレー報告』について 奈良県生活協同組合連合会 専務理事 奥西 武史 様

現在、生協には、2世帯に1世帯が加入しており、その主な理由は、家族に安心して食べさせたいという思いから、安心安全な商品を求めているためです。特に食料自給率や食の安全保障に関する問題が深刻であり、各生協の関係者はこの課題に対して強い意識を持っています。奈良県では、9団体が共同で共通の認識を持って自給率の問題に取り組む中、3月23日に県コンベンションセンターで、生産者団体との交流や学びの場を提供することを目的として奈良の食と農を考えるマルシェが開催されました。チラシを約12万の組合員に配布し、大規模な取り組みを広く知らせることができました。また、多くの団体の参加が実現し、その意義は大きいと考えています。生産者と消費者が直接交流できる場が設けられたことで、奈良の農業を支えるための理解が進んだのではないかと思います。今後は、消費者の願いを実現するため、生活協同組合としての役割をさらに強化し、地域共生社会を目指して、助け合いの精神で持続可能な農業を実現していくことを目指します。生産者との信頼関係を深め、行政や他の団体との協力も大切にしながら、奈良の食と農を守る努力を続けていきます。

『「ぶどう山椒」による産地振興の現地視察研修会』について 奈良県農村振興課 検査管理・農村地域づくり係 主任調整員 中村 正敏 様



研修会では、全国一の生産量を誇る和歌山県の山椒を中心に、地域産業の振興についての取り組みが紹介されました。地域資源を活かした農村づくりとその魅力向上について学びました。有田川町は有田みかんや、ぶどう山椒が有名で、ぶどう山椒の発祥地として知られ、全国シェアの6割を誇ります。このぶどう山椒は、香り豊かで辛味が強いことから、通常の山椒の約10倍の価格で取り引きされ、新しい産業としての可能性も持っています。有田川町では地域事業者と協力し、「しろにし」という一般社団法人を設立し、地域活性化のためのコミュニティ施設の整備を進め、地域情報の提供や移住促進のための取り組みを行っています。さらに、地域特産品を活かしたイベントや収穫大賞等も実施しています。農業と農村の一体的な取り組みや雇用創出には、行政支援の必要性を強く感じました。研修の参加者からは、地域の高齢化や過疎化に対する自発的な行動が求められるなか、農業と農村の一体的な取り組みの重要性が指摘され、地域における雇用創出など、成功事例の共有が求められました。

五條吉野土地改良区 設立50周年記念式典

令和7年4月25日(金)、五條市上野公園総合体育館シダーアリーナにおいて、五條吉野土地改良区設立50周年記念式典が開催されました。日本一の柿のまちを支える若い農業後継者など多くの組合員や歴代理事長、来賓の方々を含め約150人が出席し盛大に50周年が祝われました。

式典では寺本保英理事長の式辞に続き、来賓の福谷健夫副知事、平山周作近畿農政局農村振興部長、平岡清司五條市長、仲嶋久雄下市町長、菅谷義寛奈良県土地改良事業団体連合会常務理事より祝辞がありました。また記念講演として、太田信介元農林水産省農村振興局長が、「水土里ネット五條吉野を未来に！」と題し、水土里ネットを取り巻く状況や五條吉野土地改良区の未来へ向けた取り組み等についてお話されました。



『記念講演』
太田信介 元農林水産省農村振興局長



寺本保英 五條吉野土地改良区 理事長



福谷健夫 副知事



平山周作 近畿農政局 農村振興部長



奥野信亮 奈良県土地改良事業団体連合会長
(代理: 菅谷常務理事)



公益財団法人 農業振興会館 理事会・評議員会 開催

令和7年6月11日(水)、橿原オークホテル2階 大和の間において、令和7年度 (公財)農業振興会館 理事会を開催しました。福井議長の下、議案が審議され、原案通りに承認を得ました。



挨拶 奥野信亮 理事長
監査報告 西本安博 監事
(安堵町長)

【議事】

- 第1号議案 令和6年度事業報告、計算書類及び財産目録について
- 第2号議案 会計規程の一部変更について
- 第3号議案 定時評議員会の日時及び場所並びに目的である事項について



令和7年6月27日(金)、大和平野土地改良区3階 理事会室において、令和7年度 (公財)農業振興会館 評議員会を開催しました。松井議長の下、議案が審議され、原案通りに承認を得ました。第2号議案では、中野泰寿理事(奈良県食農部長)、松谷幸和理事(奈良県農業会議会長)、第3号議案では、外園俊夫評議員(奈良県食農部次長)が選任されました。

議長 松井正剛 評議員
(桜井市長)



議長 松井正剛 評議員
(桜井市長)

【議事】

- 第1号議案 令和6年度事業報告、計算書類及び財産目録について
- 第2号議案 理事の選任について
- 第3号議案 評議員の選任について

令和7年度 奈良県農業振興功績者表彰受賞者会総会・研修会

令和7年5月19日(月)、『令和7年度 奈良県農業振興功績者表彰受賞者会総会』が曾爾村 芝田秀数村長のご臨席のもと開催され、受賞者会会員33名と来賓の方々がご参加されました。



総会では、主催者である受賞者会 東口義巳会長の開会挨拶、奈良県食農部 外園俊夫次長よりご挨拶いただきました。

次に、新会員となる令和6年度受賞者の紹介があり、その後、議事に入り、受賞者会 黒瀬礼子副会長が議長に選出され、議案は全て原案通り可決承認されました。次期開催地については三郷町となり、信貴山のどか村福井副社長よりご協力のお言葉をいただきました。

議 案

- 第1号議案 令和6年度事業報告、収支決算について
- 第2号議案 令和7年度事業計画、収支予算(案)について
- 第3号議案 次期開催地について
- 第4号議案 役員改選について



【開会挨拶】
受賞者会
東口 義巳 会長



【来賓挨拶】
奈良県食農部
外園 俊夫 次長



【来賓挨拶】
曾爾村
芝田 秀数 村長



【新会員】
令和6年受賞者
三浦 雅之 様



【新会員】
令和6年受賞者
地域共同センター・パンドラファームグループ
王隱堂 誠海 様



【議長】
受賞者会
黒瀬 礼子 副会長



次期開催地 三郷町
信貴山のどか村
福井 義尚 様

現地研修（曾爾村）



萩原茂氏 圃場



Urushi Base Soni NENRIN(ねんりん舎)



ぬるべの郷漆工房



春の叙勲

受賞者会会員の萩原様（令和元年度受賞者 曾爾村）が旭日双光章を、山口様（令和2年度受賞者 宇陀市）が旭日単光章を受賞されました。受賞の栄誉に輝かれましたこと 心よりお慶び申し上げます。



萩原 茂 様



山口 武 様

平成3年に曾爾村議会議員選出により農業委員となってから今日に至るまで34年の長きにわたり農業委員会に在職。平成23年からは、農業委員会会長に選任され今日まで曾爾村農業委員会の要として組織を牽引し、円滑な運営に尽力されています。

また、平成3年に曾爾村議会議員に当選以来、平成23年4月までの間延べ4期16年にわたり村政の中枢に参画。この間、議長、副議長等を歴任し、村政の推進に貢献され特に観光事業での功績は大きく、村の発展の大きな礎となっています。

有機JAS認定を取得し、有機農業の実践に必要な栽培技術の確立に取り組みました。また、有機JAS認定農産物の販路拡大に精力的に取り組み、有機農産物のPRおよび販売額の向上に貢献されました。

職業訓練校としての認定を受けた「オーガニックアグリスクールNARA」を立ち上げ、有機農業の担い手の育成に先駆的に取り組みました。平成24年、(株)テラスを立ち上げ、薬用作物の栽培、販売、加工品開発など6次産業化を積極的に開始。宇陀市薬草協議会の立ち上げ、薬草栽培講習会の開催等に積極的に取り組み、宇陀市の薬草振興に貢献されています。

令和7年度 全国土地改良大会 佐賀大会のお知らせ

大会テーマ

り　　い　　さと
水を利して土地を活かす さがで語ろう郷里の未来



土地改良大会とは

「国民のいのちとくらしを育む豊かな農業と農村の構築のために」
その礎である「農業農村整備事業の役割」を広く国民にアピールし、農業・農村をさらに発展させるとともに、永く次世代へ引き継いでいくことを目的として、全国の関係者が一堂に集う式典です。

お問い合わせ

奈良土連全国土地改良大会推進室
TEL : 0744-29-1310
FAX : 0744-29-1312
MAIL: na-doren@naradoren.or.jp

2025年10月15日(水)、第47回全国土地改良大会佐賀大会がSAGAアリーナで開催されます。

本会では、本年度の参加人数40名を予定しています。参加日程は、10月14日から10月16日の3日間です。佐賀大会の詳細につきましてはご案内を送付しておりますが、ご不明な点等ございましたら、お気軽にお問い合わせください。会員の皆さまのご参加をお待ちしております。



第47回
全国土地改良大会
佐賀大会

2025年10月15日(水)
SAGAアリーナ
佐賀県佐賀市日の出2丁目1-10

令和8年度 全国土地改良大会 奈良大会のお知らせ

奈良県コンベンションセンター



天平広場



メイン会場：コンベンションホール

大会テーマ

きれいな水 豊かな土地 美しいふる里
水土里が育てる まほろばの奈良

大会ロゴマーク



開催概要

- 主 催：全国土地改良事業団体連合会・奈良県土地改良事業団体連合会
- 式 典：①式典 オープニングセレモニー、基調講演、土地改良事業功績者表彰、優良事例紹介 他
②物産展 市町村・県内企業等による特産品の展示、販売
③パネル展・ブース展示 県内の食と農、農業農村整備の取り組み紹介や観光PR
④交歓会（奈良ロイヤルホテル）
- 事業視察：県内各地の土地改良施設（ダム・頭首工等）、文化・歴史・観光施設等

 水土里ネット奈良

第48回 全国土地改良大会 奈良大会

奈良県コンベンションセンター 奈良市三条大路一丁目691-1

2026年11月



高山ため池の紹介（北倭土地改良区）

生駒市にある高山ため池は昭和25年から昭和39年にかけて、県営かんがい排水事業により築造された農業用ため池で、530ha（計画時）の受益地に約9kmの専用水路によりため池から農業用水が補給されています。

昭和25年1月に奈良県で第1号の高山溜池土地改良区を設立し、昭和33年5月に北倭土地改良区と名称変更され、設立以来、施設及び通水管理を行っています。



高山溜池諸元

堤高 23.4m 堤頂長 135.4m
貯水量 580千m³ 満水面積 9.0ha
中心コア型フィル構造
東部幹線水路
U字フリューム530～640 4.5km
西部幹線水路
U字フリューム600～700 4.6km

北倭土地改良区

受益面積 300ha 組合員数886人
理事長 尾山一郎（9代目理事長）



県営ため池整備事業 高山地区 完工式(R7. 5.17)

初代 有山武兵衛理事長

軽微な施設整備を適正化事業、県単独補助事業にて対応してきましたが、大規模な施設更新が必要となり、令和元年度に県営ため池整備事業により更新事業を開始されました。

受益面積減少もあり、利水容量の一部を治水利用し、下流への洪水被害軽減を図る多目的ため池へ改良し、生駒市の大和川総合治水対策に活用されています。

令和6年度に事業完了し、令和7年5月17日に、小林茂樹衆議院議員、堀井巖参議院議員ほか多数の来賓に参加いただき、北倭土地改良区で完工式典が開かれました。

【事業内容】

工期：令和元年～令和6年度
総事業費：414,302千円
負担割合：国55% 県34% 市8.25% 改良区2.75%
整備内容：緊急放流斜槽ゲート Φ600
底槽管更生 Φ1000 l=90m
洪水吐改良 w=7.6m H=0.66m 切り欠き
治水容量 45千m³確保
観測局設備機器（監視カメラ、水位計、雨量計など）
分水ゲート、安全施設 等



大和川総合治水対策の治水容量確保



緊急放流斜槽ゲート



自動観測装置



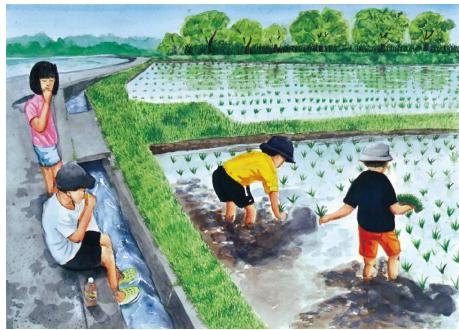
これからも地域の財産として利用していきます。

みどり 未来へつなごう！ふるさとの水土里子ども絵画展2025 作品募集

未来へつなごう！ふるさとの水土里子ども絵画展は、未来を担う子どもたちが描いた絵画を通じて、ふるさとの水・土・里のすばらしさを発見し、農業・農村への関心をより深めてもらうとともに、作品の展示や作品集の発行により、多くの人々に農業・農村の魅力をアピールすることを目的として開催されています。

応募のきまり

- (1) 応募対象者 奈良県内在住の小学生以下の皆さん
- (2) 作品のテーマ
 ・「田んぼや畠」「農業用水路」「農業用ため池」などの風景や、農作業風景、大切な水路を守っている人たち、農業に関する祭りや風習、郷土料理など農業や農村に関連するもの
 ・団体で応募される場合には、題材や構図の統一はなるべく避け、各自が自由に選択するように心がけてください。
- (3) 作品サイズ
 四つ切り画用紙サイズ (38cm×54cm)
合作など二人以上で描いた作品、異なるサイズの作品、立体作品は選定対象外です。
- (4) 注意事項
 応募作品は未発表のものに限ります。
応募作品の返却は行いませんので、ご了承ください。
- (5) 応募用紙
 応募用紙に必要事項を入力（記入）し、1点ずつ応募作品の裏面、右下スミにはがれないように貼り付けて下さい。
画用紙裏面には応募用紙のほか中央に直接本人名を記入してください。
 応募用紙等は、奈良県土地改良事業団体連合会ホームページお知らせ欄 (<https://www.naradoren.or.jp/news>) からダウンロードできます。
- (6) 応募期間
令和7年6月1日（日）～9月5日（金）（必着）
- (7) 参加賞 あり
- (8) 応募先
 〒634-0033 奈良県橿原市城殿町459番地
 奈良県土地改良事業団体連合会 総務企画課
 TEL : 0744-29-1310 FAX : 0744-29-1312
 E-mail : na-doren@naradoren.or.jp



2024年農林水産大臣賞
 「おいしいお米ができますように」



2024年文部科学大臣賞
 「水田で一休み」



2024年環境大臣賞
 「コウノトリは、この田んぼが大好き！」

令和7年度行事予定

開催月	会議・行事名	開催(予定)場所
8月20日(水)	奈良県農業農村整備事業推進協議会 総会	大和平野土地改良区
10月15日(水)	全国土地改良大会佐賀大会（日程：10月14日から16日）	佐賀県
11月11日(火)	奈良県土地改良事業団体連合会 理事会	奈良ホテル
11月11日(火)	公益財団法人 農業振興会館 美アップ農村・レディセミナー	奈良ホテル
11月23日(日)	葛城山麓ウォーク	葛城市内
11月26日(水)	農業農村整備の集い	東京都
11月下旬	国予算に係る政策提案・要望活動	東京都

※ 今後、変更する場合があります。

皆さまのご参加をお待ちしております！



第47回 全国土地改良大会
佐賀大会 

2025.10.15
 SAGAアリーナ

◎ 詳細は本誌P15

土地改良に関する法律相談

本会では、法的な判断が必要とされる土地改良区に関する案件について、顧問弁護士による法律相談を行っております。

※県に対する許認可(定款変更の手続きなど)等の行政事務は除きます。

実施日：令和7年8月20日(水)
 令和7年9月17日(水)
 令和7年10月8日(水)
 令和7年11月12日(水)
 令和7年12月10日(水)
 時 間：13：30～

場 所：大和平野土地改良区事務所 3階会議室
 弁護士：おおみね法律事務所 石黒良彦 氏
 費 用：無料
 申込み：奈良県土地改良事業団体連合会 総務企画課
 TEL：0744-29-1310

● 編集後記 ●

「奈良の土地改良No.87」をお読みいただきありがとうございます。
 先日、田植えのイベントに参加してきました。暑い中でしたがたくさんの人が田植体験を楽しんでいました。今年の夏は、猛暑が続く見込みとなっております。みなさまには熱中症に十分注意していただき、こまめに水分補給をして、この夏を乗り越えていただきたいです。（編集部）